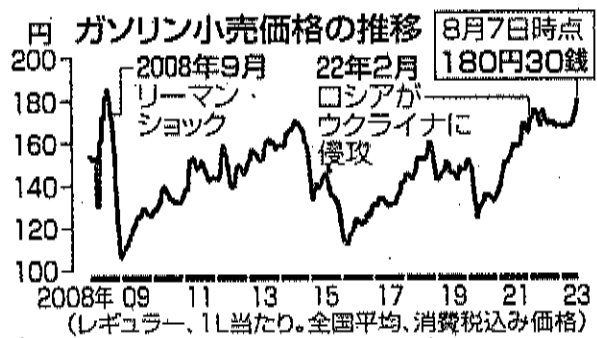


止まらぬガソリン値上がり

全国平均180円台 政府補助縮小響く

経済産業省が九日発表した七日時点のレギュラーガソリン一リッター当たりの全国平均小売価格は、前週調査から三円六十銭高い百八十四円三十銭だった。値上がりは十二週連続で、二〇〇八年八月以来約十五年ぶりの高値。原油相場上昇や政府が価格抑制のための補助を段階的に縮小していることが響いた。＝県内関連⑥面

比較可能な一九九〇年以降の最高値である〇八年八月の百八十五円十銭に迫る勢いで、調査した石油情報



レギュラーガソリン価格 (7日)

愛知	178.6円	(3.4円高)
岐阜	181.0円	(3.7円高)
三重	178.9円	(3.1円高)
長野	189.9円	(3.5円高)
滋賀	180.7円	(6.0円高)
福井	183.6円	(3.8円高)
静岡	180.1円	(3.6円高)
石川	183.1円	(3.7円高)
富山	183.2円	(3.8円高)

1リッター当たり、0は前週比
石油情報センター調べ

経産省は補助金により、八月七日時点のレギュラーガソリン価格に対して六円ちよつどの抑制効果があったと説明。八月十日からの補助金額は一リッター十二

円ちよつどになる。

補助は六月以降、段階的

に縮小して九月末で終了する予定。補助が予定通り終了すれば家計負担が一段と増す見通した。

ハイオクガソリンは全国平均で三円七十銭高い百九十一円二十銭だった。軽油は三円五十銭高い百五十九円八十銭。灯油は十八円

たり五十二円値上がりし、二千百四十八円だった。都道府県別のレギュラーガソリン価格は全都道府県で値上がりした。最高は長野県の百八十九円九十銭で、山形県の百八十六円七十銭が続いた。岩手県と兵庫県がともに百七十五円三十銭で最も安かった。